



大和泊海岸

指定名称 やまとどまりかいがん
大和泊海岸
(町指定史跡・天然記念物)

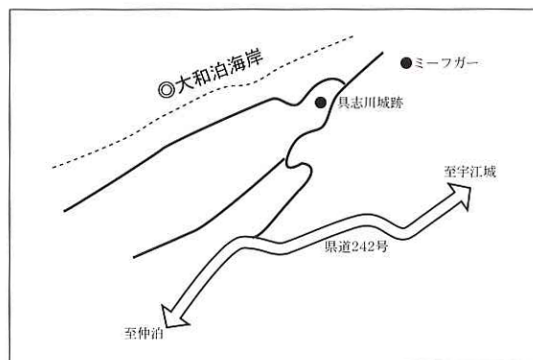
所在地 久米島町字仲村渠クメシ原432

指定年月日 昭和49年4月26日
(旧具志川村指定)

所有者 久米島町

大和泊は具志川城跡に面した海岸で、按司時代には唐船など貿易船が碇泊したところである。「おもろさうし」21の114のおもろには「具志川城を立派に築いたすぐれた按司のこの城は唐、大和の船がやって来て酒、黄金もちよせる城である」とあり、大和泊に貿易船が来航していたことを物語っている。

伊敷索城下の兼城泊や宇江城城下の真謝泊などのように泊と名の付く場所は入り江になっているが、大和泊は少



し湾曲しただけの地形で、貿易船が碇泊した際にトモツナを結んだといわれる石が波打ち際に屹立している。なお、指定地域は大和泊から具志川城下を経て、ミーフガーまでの海岸一帯(民有地を除く)である。また、同海岸一帯には貴重な植物「ミズガンピ(ハマシタン)群落」があり、併せて天然記念物に指定されている。